２０２１年度　　足立区　保育研修報告　　VOL. １４

幼児教育研修（年齢別担任研修４歳児　第１回）　　**受講者数８２名**

日時　令和３年６月３０日（水）　１５：００～１７：００

場所　竹の塚地域学習センター

講師　明治学院大学　心理学部教育発達学科　特命教授　　田代　惠美子氏

【内　容】～子どもの楽しいを一緒に感じる保育者の関わりとは～

楽しさを繋げていくためにはポイントを押さえた記録を取り、保育を振り返ることが大切です。子どもが楽しいと感じ、自ら遊びたくなるような心を揺さぶる環境設定を行うための工夫の仕方や保育者の関わり方を、事例をもとに学びます。

講師　田代　惠美子氏

【受講者の感想】

＊　**研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか**

・環境によって子どもの遊びの持続性が左右されることを学んだ。子どもたちの姿を見取り、今までの環境で楽しんでいるところは持続するために更にどうするか考え、遊びが終わっているところは１回片付けをし、環境の再構築を行っていきたい。

・今までは保育者が上手く子どもたちに見通しを持って過ごせるように先回りをしてしまうことが多かったが、これからは子どもたちが主体となって遊べるように声を掛けたり、環境を設定したりすることをより考えて、子どもたちが面白い、楽しい、やりたいと思えるような環境を整えていきたい。

・話し合いの場で「違う」と言えることも自分の考えを持っているからこそ言えることなのだと学んだ。子どもたちの様々な意見に耳を傾けていきたいと思った。

・日誌記入の際には「保育者がどう対応したのか」「次は何を準備するべきか」等を記録し、次の保育に活かせる考察をして、内容を残していくことが大切であると学んだ。子どもが何を楽しんでいるのか、どうしたら“楽しい”という思いを持続させられるかという視点を意識して記録をしていきたい。

・４歳児の成長や発達の特徴を改めて確認する機会となり、子ども一人一人の伸ばしていきたい力を思い浮かべ、保育に取り入れていこうと感じ、今後の保育に対する意欲になった。

＊　**ご意見・ご感想**

・保育をどう進めていけばよいか、悩んでいた時期でもあり、研修を受けて保育園環境の大切さや４歳児の発達特性か知ることができた。また、保育事例や事例映像があったので研修を受けながら、自分の保育を振り返り、見直すことができた。

２０２１年度　　足立区　保育研修報告　　VOL.３５

幼児教育研修（年齢別担任研修４歳児　第２回）　　受講者数６９名

日時　令和３年１０月２８日（木）　１５：００～１７：００

場所　竹ノ塚地域学習センター

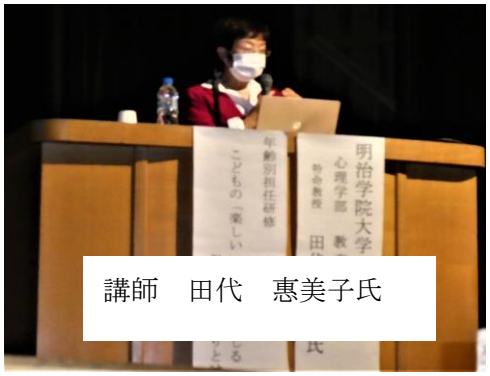
講師　明治学院大学　心理学部教育発達学科　特命教授　　田代　惠美子氏

【内　容】

～子どもの楽しいを一緒に感じる
保育者の関わりとは～

子どもが何に興味を持っているのか、「楽しい」を引き出すための幼児理解が大切である。

子どもの姿を幼児期の終わりまでに育って欲しい１０の姿で捉え、深い学びに繋げていく。



講師　田代　惠美子氏

【受講者の感想】

＊　研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

・遊びが充実している時の６つの要素（時間・空間・イメージ・目的・友だち・もの）全てに保育者が関わっている。その要素が絡み合っている時が、子どもの遊びが充実している時であると分かった。

・「主体者は子どもで決定権は子どもにある」が「子どもが決めたら何をしても良い」「保育者は見ているだけで良い」のではないことが分かった。また、保育者は子どもの思いを実現するためにどのような援助が必要なのか考えることが大切であることを学んだ。

・４歳児はまず自分が中心であること。そこから少しずつ相手にも思いがあることに気付き、相手に合わせようとする姿が見られるようになる。４歳児の人との関わり方の姿をビデオを通してみることができた。そこで、保育者の関わり方（幼児理解）が子どもの楽しいを支える一番の要素であると学んだ。

・「させなきゃ」「育てなきゃ」ではなく、子どものしていることをまずは面白がり（表情や態度で示す）「こんな遊びもしていいのだ」と、子どもが安心して遊べるよう関わっていきたい。

・大きな行事が立て続けにあり、やらなければいけないことで頭がいっぱいになりがちだったが、心に余裕をもって子どもたちとのコミュニケーションを楽しんでいきたい。

＊　ご意見・ご感想

・事例の動画を見終わった後に、その内容を１０の姿に照らし合わせて話をしてくださったので、どのような視点で見ていけばよいか分かりやすかった。

・自分の考えだけでは行き詰ってしまう内容も、講師の方が分かりやすく説明してくれたので良かった。

２０２１年度　　足立区　保育研修報告　　VOL. ６７

幼児教育研修（年齢別担任研修４歳児　第３回目）　　受講者数６９名

日時　令和４年１月１３日（木）　１５：００～１７：００

場所　竹ノ塚地域学習センター

講師　明治学院大学　心理学部教育発達学科　特命教授　　田代　惠美子氏

【内　容】

～子どもの楽しいを一緒に感じる
保育者の関わりとは～

子どもの主体的と好き勝手の境はどこかと考えた時、どのような言動にも子どもなりの思いや考えがあるということを理解することが大切である。保育者が意識を変え、肯定的に関わっていくことによって見えてくる子どもの姿について学びを深める。

講師　田代　惠美子氏

【受講者の感想】

＊　研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

・環境や関わり方が重要であると改めて気付いたので、自分の在り方を考えていきたい。

・子どもの気持ちや感情を受け止める余裕をもちたい。通り一偏の返答だけではなく保育者自身が発想を豊かにしたいと思った。

・子どもの「楽しい」を引き出すためには子どもたちが、あそびに必要なものを手に取りやすい環境に設定したり、保育者が黒子のように見守っていくことが大切であるということが分かった。

・子どもの一面を見てマイナスに思うかプラスに思うかは自分の気持ち次第なのだと感じた。なぜ毎回そうなってしまうのかと考えたり、その子どものことをもっと知ることができるチャンスだととらえていきたい。

・年長まであと三ヵ月というところで、まとめの時期に入り焦る気持ちがあった。しかし講師の話を聞き、友だちと一緒に生活する楽しさを味わうことを大切にし、一人ひとりの今育てておきたいことは何かを考え丁寧に保育をしていきたいと思った。

＊　ご意見・ご感想

・これまでの研修の中で質問に上がった内容を取り上げた講義だったので振り返りができた。また、画像があることで具体的に考えることができたのが良かった。

・講師の方の話は分かりやすく、日常の保育にも落とし込める話題も多く扱っており、新卒としてはとても参考になる研修だった。